

紀美野町立小川小学校

令和6年度 学 校 要 覧

【めざす児童像】

- ◇ 健やかに安全な生活を送る子ども
- ◇ 意欲的に自ら学ぶ子ども
- ◇ 思いやりのある心豊かな子ども

1 学校教育目標



しっかり動き、じっくり学び、みんなで育つ

2 重点目標

○安全安心な生活態度の確立・体力の向上

- 基本的な生活態度や自己管理意識の定着
- 体力や運動能力の向上
- 危険回避能力の育成

○学ぶ意欲の醸成・確かな学力の定着

- 授業における研究の充実
- 『学び合い』の深化
- 家庭学習の定着

○読書活動の定着

○人間力や集団力の育成・

- 自己肯定感や帰属意識の醸成
- 道徳・人権活動の充実

○家庭や地域との連携

- 体験活動や交流学习の充実
- 家庭や地域とのつながりと学校評価の活用
- 幼小中の連携の推進
- 地域との交流・資源の推進



3 職員組織

職 員 構 成	
校 長	1・2年担任
教 頭	3年生担任
養護教諭	4・5年担任
事務職員	なかよし担任
校 務 員	ぐんぐん担任
教育支援員	A L T
教育支援員	スクールカウンセラー

児童在籍状況

数字は人数

学 級		男子	女子	計	家庭数
複式	1年	1	1	2	1
	2年	3	2	5	4
3年		0	1	1	1
複式	4年	2	0	2	2
	5年	0	1	1	1
なかよし(知的)	3・5年	2	0	2	1
ぐんぐん(情緒)	5年	0	1	1	1
計		8	6	14	11

4 研究主題

「全員が参加する授業の工夫」～複式授業の充実～

○ 研究課題 : めざす児童像「**おがわ**の子」

おもいを伝える子 =話し合い活動の充実

子どもたちが、自らの思いを豊かに表現し、考えを練り上げ、高まり合うため、話し合い活動を充実させる。

がんばる子 =直接指導・間接指導の充実

全員が楽しく「わかる・できる」ような授業づくりを工夫して直接指導を充実させる。子どもたちが主体的に学習に取り組み、「子どもがつくっていく授業」に到達するため、間接指導を充実させる。

わかりあえる子 =相互理解の深化

少人数集団であることを生かして児童相互並びに児童と教師の相互理解を深めるための活動や指導を充実させる。

5 学校沿革の概要

- 明治 6 年 小川小学校を東福井字棟谷 5 4 2 番地に設立。同地小川八幡神社境内神宮寺をもって校舎とする。
- 昭和 2 2 年 小川村立小川小学校と改称する。小川小学校育友会を発足する。
- 3 0 年 野上町立小川小学校と改称する。
- 6 3 年 吉野分校を閉校する。(開校より 7 7 年)
- 平成 3 年 県・町指定生活科推進校研究発表会を開催する。
- 1 2 年 文部科学省指定人権教育研究発表会を開催する。
- 1 8 年 紀美野町立小川小学校と改称する。
(県)きのくに学びの創成支援事業研究発表会を開催する。(～1 9 年)
- 2 0 年 『和歌山発 3 つのステップで読解力をつける複式の国語科授業』を出版し、自主研究発表会を開催する。
- 2 1 年 「全国複式国語授業研究会」を発足し、夏季研修会及び冬季授業研修会を開催する。
- 2 2 年 「全国複式国語授業研究会」夏季研修会及び冬季授業研修会を開催する。
『複式発 国語授業の教科書—これだけは知っておきたい国語 授業づくりQ&A 4 0 』を出版。
- 2 3 年 「授業のユニバーサルデザイン」和歌山支部として、夏季研修会及び冬季研修会を開催する。
- 2 5 年 『学び合い』研究を始める。
- 令和 5 年 創立 1 5 0 周年記念事業として、式典・講演会を行う。



